

# 佐賀県における地域日本語教室の役割



国籍はちがうけど友達ができてうれしい。

コンビニのお弁当を作る仕事をしてるの？  
私もよく食べてるわ。外国人とは関係ないと思っていただけ、ちがうわね。



ゴミ出しのルールがやっと分かった。僕の国のルールも話せて、違いがわかってもらえた。



やさし日本語で説明したらいいのね！外国人と話すときは英語じゃないとダメとおもってたわ。

一緒に防災訓練に参加しよう。私たち外国人は若いから力になれるよ。



避難所は私たち外国人も行ける場所なんだ！

地域住民として社会に定着して行くための **日常定期的かつ継続的に** 交流をする場

- 多くの市民・団体が参加しての **交流をベースにした活動**
- **双方向のコミュニケーション力の向上と異文化理解**
- 言語・文化的な差異によって生じる問題を **一緒に考え、新たな地域の形成**
- 困っている外国人参加者を **相談窓口につなげていく仕組み**
- 市民の **「居場所」** として安心を感じてもらう。

# 佐賀県が目指す地域日本語教室

## 地域日本語教室とは（期待できる効果）

- 佐賀県民の多文化共生の理解促進
- コミュニケーション力の向上

- ・地域住民同士の顔の見える関係づくり（人間関係の構築）
- ・日常定期的かつ継続的に交流をする場（居場所の拡大）
- ・生活上の困りごとを受止める場所（セイフティネットとしての役割）
- ・住民の社会参加による多文共生社会の理解、発信（やさしい日本語、多文化防災、異文化理解等）



日本語活動を促し、外国人，日本人を問わず言語や文化が異なる者同士がコミュニケーションを図り，共に学べる活動をコーディネートし運営を維持していく「人」が必要

→地域日本語教育  
コーディネーター



教室のみんなと地域の祭りやイベントに参加。当日は外国人観光客も飛び入り参加し、交流した。また、地元のケーブルTVが外国人観光客にインタビューをした際には、通訳として活躍！



日本語教室と地域の他団体との交流。交流をきっかけに顔見知りとなり、相互理解につながっている。



「防災」をテーマに地域の災害について学ぶ。防災マップを確認しながら、避難所について日本人参加者とともに学んだ。



地元の書道の先生を招いて書道体験。折り紙や生け花、お茶など日本の文化に触れるチャンスがある。

# 佐賀県における地域日本語教育の目指すもの

## 安心安全な生活の実現 生活の充実

※地域日本語教室への参加(外国人)

地域や社会との繋がり構築

地域  
日本語  
教室

- ・ 地域での居場所
- ・ 地域における交流の機会
- ・ 地域活動への参加の機会
- ・ 国際交流の機会
- ・ 日本語学習の機会

日常生活の質の向上

- ・ 健康で安全な生活の実現
- ・ 文化、習慣への理解・日本文化環境への適応
- ・ 円滑な家庭生活・こどもの教育への関わり
- ・ 文化的な生活の実現・日本社会での自立
- ・ 地域の一員としての社会参加
- ・ 顔の見える関係（人間関係を形成する）

## 人の定着、人の循環 →選ばれる佐賀

※地域日本語教室にかかる取組

行政

- ・ 共に生きることのできる公正な社会づくり
- ・ 多文化共生の理解および取り組みの推進
- ・ **日本語教室を核とした多文化共生の場づくり**  
共に安心、安全に生活できる環境の創出  
共に学びあう場の創出
- ・ 日本人と外国人の交流による地域の活性化
- ・ 災害時の共助や各相談窓口等のつなぎとなる場所（セーフティーネット）

ボランティア団体

- ・ 幅広い支援内容による学習者の満足度向上
- ・ 地域での国際理解、国際交流の広がり
- ・ ボランティア活動者の社会、地域との繋がり

企業

- ・ 日本文化環境への適応
- ・ コミュニケーション力の向上
- ・ 従業員の満足度向上
- ・ 人材の定着、循環

日本語学校・大学等

- ・ 学生と地域との繋がり
- ・ 多文化共生の実践